## 4 半蔵通言

2022年6月 Vol.025

ご報告

お父さんに「いつもありがとう」の気持ちを。

## 《純米大吟醸 半蔵 Father'sDay》



アルコール度数/16%

商品コメントを担当します、大田麻帆です。

今回は父の日の商品ということで私の父の日エピソードを話したいと思います。 お付き合いいただけましたら幸いです。

私が父の日にプレゼントを渡し始めたのは、小学生の高学年の時からです。 お小遣いを貯めて、初めは「ハンカチ」をプレゼントしました。

父はあまり感情が顔に出ないタイプだったので、 何気にボロボロになるまで使ってくれていた時はすごく嬉しかったです。

子供ながらに「今年は何をプレゼントしようか?」 と考えることが楽しくなっていました(笑) それ以降、毎年プレゼントを渡し続けました。

高校生の頃から父が酒好きということに気づき、ビールグラスなどの酒器を。 大学生になるとお酒の授業を受けていたのでお酒に詳しくなり、 さらに、アルバイトをするようになったので父が一番好きなブランデーを プレゼントしました。 (母と酒屋に行って購入しました笑)

結婚してからは、日本酒が身近になり一番好きな日本酒をプレゼントしました。 しかし、その年の父の日に

「父の日は何もしなくて良いよ。気持ちは十分伝わっているから。」 と言われてしまい気持ちが伝わっている嬉しさの反面少し寂しさを感じました。

今はもうプレゼントを渡すことはなくなりましたが、 今思い返してみると、毎年「ありがとう」と言うことがむず痒くて一回も感謝の気持ちを言えていませんでした笑

そんな私と専務で、父の日の商品をリニューアルしてもっと女性の方に手にとってい ただきやすいラベルに仕上げました。

感謝の気持ちを伝えるこの機会に、

「純米大吟醸 半蔵 Father's day」を選んでいただけたら嬉しいです。

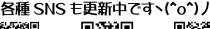
大田麻帆

## 720ml ¥2,970(税込)



〒518-0121 三重県伊賀市上之庄 1365-1

株式会社 大田酒造

Tel:0595-21-4709 Fax:0595-21-9686 URL:http://www.hanzo-sake.com 飲酒は20歳になってから。 





## + 蔵通信のうらがわ 4 ٧٥١.022



今回担当させていただきました。 次男の大田陽平(ようへい)です。

今回の「半蔵通信のうらがわ」を担当させていただく、陽平です。 よろしくお願いします。

今期の造りも無事終わり、ひと息ついたところですが、 さっそく来季に向けて各所で酒米の田植えが行われました。

4 月末、島ヶ原では純米大吟醸「元頭(エトー)」の『神の穂』の 田植えが行われるとのことで見に行ってきました。 この日は晴天。地元の子どもたちの体験も行われ、 泥んこになりながらも楽しそうな声が飛び交っていました。

先日、『神の穂』を開発された三重県農業研究所の方に話を聞く機会がありました。 酒米生産者の方たちからは育てやすい酒米を。 酒造メーカーからは、早い時期から仕込みに取り掛かれる酒米を。 とそれぞれの要望があったそうです。

> そこで『神の穂』は他の酒米に比べ、背丈が低くて風で倒れにくく、 収穫時期が早いといった特徴があります。







5 月末には蔵からほど近い大東(おおひがし)で山田錦の田植えがありました。 大東は弊社から車で 5 分ほどの同じ猪田(いだ)地区にあり、 小学生の頃によく自転車で田んぼ道を走っていました。

地元の生産者さんが育てた酒米で半蔵を醸すことは、 この伊賀の地の良さを造り手の私たちも再確認することができます。

これからも地域一体となって、酒米を育てる風景が続くといいなと感じました。

いまから秋の収穫が楽しみです。

最後までお読みいただきありがとうございます。